

# Topic ペアレントトレーニング

私は4歳の双子を育てています。私にとって長年待ち望んだ子どもでもあり、知識面も心構えも準備万端で子育てをスタートしたと思っていました。ところがこのころ、子どもの事故予防地方議員連盟や子ども安全士資格の勉強会などで医師や保育士などと直接お話しをする場面が重なり、その中で自身、親として子どもを守るための正確な知識を持っていなければならぬことを知りました。また8月から10月にかけて区内3所の児童養護施設の視察を行い、社会的養護の専門家と議論をする機会をいただきました。この経験を通じて、専門家との比較において、私は自分自身の子どもへの育ちについて考え抜くことができず、痛感しました。生物学的には、人間は子どもが生まれたら親になります。子どもが生まれたら人間は親になれるのかといえは、やはりそこには修練が必要ではないかと、自分自身の経験を通じて、また児童虐待の分野における政策調査を経て、私はそう思うようになりました。

**松本**：パパママ学級は、産前産後の基礎知識を伝えてくれる場で、現状は初産の方が対象となっている。前回の出産から時間が経っており知識を確認したいなどの理由から、参加を希望する経産の方を受け入れるために、要件から「初産」を外してはと考えるが区の見解は。

**子ども家庭部長**：現在も受講希望者が多く、キャンセル待ちとなる場合もあるため、現時点で対面学級の対象を拡大することはできないが、オンライン形式については対応できるように検討する。

**松本**：子育てが地域に支えられていると感じられ、今後もこの地域で子育てをしたいと思う親を増やすために、**同月齢の子と保護者が定期的に集まる場の提供**の観点を包含した、定期的な子育て講座を行い、切れ目のない子育て支援をより多くの子育て世帯に感じてもらいたい。区の見解は。

**子ども家庭部長**：地域で安心して子育てをするために、議員の指摘にある機会は重要。現在保健センターの育児相談や、児童館や子ども・子育てプラザでそういった取組を進めているところで、今後もより多くの家庭にご利用いただけるよう充実に努める。

**松本**：厚生労働省が配布しているポスターでは、赤ちゃんに掛け布団がかかっているが、これはSIDS\*対策として誤っていると指摘されている。乳児のSIDS対策として、衣服等はそのようにすることが適切か。厚生労働省が訂正の対応をしないのであれば、杉並区の乳児を守るために区独自の啓発を行うべきでは。

**子ども家庭部長**：乳児の体温を保つために必要な場合は、身に着けられる毛布の使用や重ね着をさせることで、乳児の睡眠スペースに余分な物を置かなくても済むといわれている。今後も区民に対して正しい情報を伝えると共に、国の対応に注視する。

\*乳児突然死症候群のこと。何の予兆も既往歴もない乳児が睡眠中に突然死に至ること。令和元年には7人の乳児がSIDSで亡くなりました。掛け布団の使用は温めすぎによる過熱や、柔らかい寝具が呼吸を妨げる可能性があることから、消費者庁や小児科医らがこのポスターについて訂正を求めています。

## 陳情審査

4 陳情第16号 荻窪駅南口駅前都道補助131号線の方通行規制保持の陳情

荻窪駅南口駅前都道補助131号線の現況を考えた時に、相互通行に変更することは現実的でなく、当面一方通行規制を保持することが妥当と考えます。一方で、駅前機能の再構築が進み、理由欄に記載されているような各種の懸念が解消された上で、路線の相互通行ができるという中期的な将来像を排除するものではないと考え、趣旨採択を主張しました。

4 陳情第17号 荻窪の防災・人に優しいまちづくりに関する陳情

荻窪の防災まちづくりは重要かつ優先順位の高い取組であり、陳情に挙げられた様々な課題は解決に向けて取り組みを加速していく必要があります。陳情提出者具体的なアイデアをそのままの形で実現することは技術的な面等から難しいことが明らかとなり、趣旨を捉えて趣旨採択を主張しました。改めて荻窪の防災まちづくり、都市機能の更新についてねじを巻いて進めていきたい。区民からもアイデアをいただきながら、それをただ受け止めているのではなく、区として具体的な将来のまちの姿を示すべきであり、その機は熟していると考え、本質的かつ積極的な取組を強く要望しました。



▲ issues

4 陳情第21号 杉並区全公共施設の改修および改修計画時に環境配慮型の建築を作るための陳情

前区長時代の令和3年11月に杉並区ゼロカーボンシティ宣言を行い、環境の専門家が新区長に就任するなど、杉並区としても環境配慮の取組が加速しているところです。都市環境委員会でも10月に藤沢市を視察し、同市の環境基本計画と地球温暖化対策実行計画について学びました。環境基本計画は既にありますが、杉並区として地球温暖化対策実行計画を策定し、公共施設の発電量目標を盛り込むことなどが確認できたため、趣旨採択としました。路面舗装型太陽光発電や、ロケット太陽電池など、新たな技術の活用への挑戦も環境部長から表明がありました。

**松本**：ペアレントトレーニングは、知的障害や発達障害のある子を持つ家庭向けに開発されたものだが、現在は幅広い目的や方法で展開されており、視察した区内の児童養護施設でも導入し児童とのかわり方が改善されたと伺った。これを全ての子育て世帯を対象とする「ペアレントプログラム」として実施することが望ましいと考える。区の見解は。

**子ども家庭部長**：まずは要保護・要支援家庭を対象に、早期からの実施に向けて検討を進める。支援者を育成するための講習もあわせて実施し、ペアレントプログラムの効果を見極めると共に、**対象の拡大を考え**、取組を進める。

福岡を11月17日の夕方、新年度予算の概要(児童)状況が公表されました。記載されている4つの新規事業の中に「親子関係形成支援事業」が盛り込まれたことで、ペアレントプログラムの実施が明らかになりました。\*その他、区職員が住民基本台帳法違反の疑いで逮捕されたことについて「警察関係」11月17日時点の最新情報を確認しています。このように事件が起きたことを大変遺憾に感じています。

## Topic 文化芸術・スポーツ・まちの にぎわいに関する特別委員会

(1) 杉並区制施行90周年記念「交流自治体中学生親善野球大会」の実施結果について

(2) 令和4年度「第1回ユニバーサルタイム」の実施結果について

(3) 杉並アニメーションミュージアムの再開に向けた取組等について

(4) 令和4年度 障害分野におけるスポーツ等推進の取組について

の4件が報告され、委員長として質疑を進行しました。

## Topic 都市環境委員会

議案第6号 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

23区が統一的に改正。必要な措置と考え議案に賛成しました。粗大ごみ受付センターのホームページ経由での粗大ごみ受付の活用状況等について質問を行い、デジタル化推進計画(案)でAIチャットボットの活用が予定されていることについて質疑の中で取り上げました。(左上へ続く)

## Info お知らせ① 荻外荘の展示休憩施設棟について

決算特別委員会で取り上げ、Vol.14で紹介した荻外荘の展示休憩施設棟について、11月12日に荻窪地域区民センターでパネル展示説明会がありました。都市環境委員会の報告でも意匠面が高評価とありましたが、その通りとても素敵なデザインで進んでいました。

一方で、このことをSNSで紹介したところ、台東区の維新の仲間から、この設計会社の建物は管理面での制約が多く維持管理に苦慮している、という情報があり、そういった観点もあわせて持つ必要があると感じました。



## Info お知らせ② マニフェスト大賞、「審査員特別賞」受賞!

Vol.14で「マニフェスト大賞(エリア選抜賞)2年連続受賞」とご報告させていただきましたが、特別審査委員で女優の秋吉久美子さんの選考により、「審査員特別賞」も受賞したことが11月11日の表彰式当日に発表されました。



## Info お知らせ③ 議員定数削減の議案を提出しました

Vol.14で区民意向調査のお知らせをさせていただきます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。私の2019年の区議会議員選挙公約でもある議員定数の削減について、回答の64%が「議員が多すぎる」「Tを活用した効率的な議会活動をしてほしい」など、議員定数を減らすべきという内容であり、そういった区民の皆様のご意見も踏まえ、議会最終日に、現在48名の杉並区議会議員の定数を46名に減らす議案を提出しました。本会議で反対多数で否決されました。

LINEでご意見ご要望を伺っています。  
お気軽にご連絡下さい!